



## IAEA の研修「メンタリングコース」を開催しました

国際原子力機関（IAEA）、原子力国際協力センター及び若狭湾エネルギー研究センター（以下、エネ研）の共催で、原子力人材育成研修「メンタリングコース」を、本県で初めて開催しました。

この研修は、アジアの原子力関係の行政官を対象に、国内の原子力関連施設等を視察し、原子力発電に関する日本の技術や人材育成も含めた安全対策等についての最新の知識の習得を目的とした研修で、日本人指導者（メンター）が同行し、事前の情報提供や説明補助などにより研修生をサポートし、研修効果を上げるというものです。

研修生は 8 か国（バングラデシュ、インドネシア、ヨルダン、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、イエメン）からの 11 名で、研修は 7 月 8 日から 7 月 19 日の 2 週間にわたり行われ、後半の週には福井県内の各施設を視察しました。

一行は 15 日に本県に入り、エネ研で、本県と原子力の関わりや放射線利用研究に関する説明を受け、加速器施設を見学し、午後は本県の原子力政策に関する説明を受け、原子力の PR 施設や放射線監視施設を見学しました。翌日からは、原子力発電の運転・保修訓練施設、国内で唯一稼働している大飯発電所や国立大学附属の原子力研究所などの視察、商工会議所や地元原子力関連企業との意見交換など、多様な施設が集積する本県の特徴を活かして、原子力技術や人材育成、立地地域と原子力の関わり等について理解を深めていただくことができました。

### 【福井県内の主な訪問先】

若狭湾エネルギー研究センター、福井原子力センター「あつとほうむ」、福井県原子力環境監視センター、原子力発電訓練センター、日本原電敦賀総合研修センター、敦賀商工会議所、関西電力大飯発電所、おおい町周辺施設、美浜町内原子力関連誘致企業、福井大学附属国際原子力工学研究所（研修へのご協力に感謝申し上げます。）



エネ研岩永専務理事  
歓迎の挨拶



エネ研での研修の様子



加速器施設見学の様子

## SSH 科学実験研修が行われました(藤島高校)

平成 25 年 7 月 18 日に、SSH の指定高校である藤島高校の科学実験研修がエネ研で行われました。理系の 2 年生が 33 名参加し、研究テーマごとに最先端機器を使った科学実験を行い、実験結果をホールで発表しました。

### <研修テーマ>

- ・プログラミングと数値解析の基礎（講師：西尾研究員）
- ・電子顕微鏡によるミクロ組織の観察（講師：笹瀬研究員）
- ・蛍光 X 線分析の基礎と応用（講師：安田研究員）
- ・アルデヒド脱水素酵素の遺伝子型判定（講師：田中研究員）
- ・金属の蒸発と薄膜生成実験（講師：石神研究員）
- ・ $\beta$  線と  $\gamma$  線の吸収曲線の測定（放射線と物質の相互作用）（講師：栗田研究員）

### <SSH とは>

SSH は、Super Science High School の略（文部科学省の事業）。

SSH の指定校は、「科学技術系人材の育成」を目的に、大学や研究機関等と連携し、高校の学習指導要領によらない発展的な内容を学んでいます。



エネ研中嶋所長 開会挨拶



実験の様子



結果発表



## 平成 25 年度「拠点化計画促進研究開発事業」などの採択を決定しました

当法人では、県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画（充実・強化分野）」の一環として、「拠点化計画促進研究開発事業（補助金）」を実施しています。今年度は、審査の結果、平成 24 年度から継続する取組み 4 件と、平成 25 年度からの新たな取組み 2 件を採択し、補助金の交付を決定しました。

<拠点化計画促進研究開発事業 採択テーマ（6 件）>（補助限度額 2,000 万円/件）

	テーマ名	事業者
継続	水底放射能測定装置の研究開発	(株)環境総合テクノス、大洋潜水工事(株)、(株)TAS
	タフ・ステン繊維を加工した放射線遮へい生地等の開発	カイト・ベックス(株)テクノセンター、マルイテック(株)、福井大学、福井県工業技術センター
	身体汚染防護服の機能性向上に向けた研究開発	セーレン(株)
	放射性物質の除染対応資材（遮水シート等）の開発	東洋紡(株)
新規	海洋エネルギー発電デバイスと活用方法の開発	カイト・ベックス(株)水産資材事業部、広島大学
	液体燃料製造プロセス最適化に関する研究	(株)ナカテック、岩谷産業(株)中央研究所

また、他県に比べて優れている技術等を基に更なる技術開発を推進し最先端技術を創出することで、福井県内に新たな産業クラスターの形成を目指す「ふくい未来技術創造ネットワーク推進事業」を公益財団法人ふくい産業支援センターとともに進めておりますが、その一環として実施している「可能性試験調査研究」についても、平成 25 年度事業として 4 件を採択し、調査研究の委託を決定しました。

<可能性試験調査研究 採択テーマ（4 件）>（経費限度額 200 万円/件）

テーマ名	事業者
筐体軽量化のためのアルミ材料強度 UP 工法の研究調査	植田工業(株)、福井高専
UV 活用した脱炭酸グラフト重合による機能性付与の研究	ウレ(株)、福井大学、福井県工業技術センター
靱殻を原料とする有機珪素化合物に関する検討	日華化学(株)、福井大学、福井県工業技術センター
盆栽用苔の粉末化に関する技術開発	双葉鉄工(有)、JAEA

エネ研では、今年度も引き続き、福井県内の産業界の皆さまをサポートしていきます。

## 平成 25 年度「公募型共同研究」の採択を決定しました

エネ研では、エネルギー研究開発拠点化計画の「研究開発機能の強化」の一環として、県内をはじめ、関西・中京圏の大学・研究機関等との共同研究を推進しています。

平成 25 年度は、事業化・実用化を目指す企業を研究体制に加えた「産学連携研究」と、エネ研の研究者と共同で研究開発を行う「基礎研究」に関する公募を行いました。

このたび、21 件の提案があり、審査の結果、下記のとおり 7 件の採択を決定しました。

【産学連携研究枠（2 件）】

件名	[提] 提案機関 [企] 参加企業
高分子・化学系アクチュエータのパターン化複合電極材の創製と応用	[提] 福井大学 [企] セーレン(株)
新規な光合成・光形態形成機構モデル搭載の植物工場用光制御システムの開発	[提] 福井大学 [企] 日野電子(株)

【基礎研究枠（5 件）】

件名	提案機関
太陽炉を用いた酸化グラフェン高温処理による高品質グラフェン大量製造技術の探索	大阪大学
陽子線・ヘリウム線による脳壊死モデル作成技術の確立ー放射線脳壊死のメカニズム解明と治療法開発を目指してー	京都大学
鋳型フリー水熱中有機無機変換合成法による窒化炭素系ナノチューブ材料の開発と組成分析および光触媒・水素吸蔵特性	名古屋大学
革新的陽子線がん治療のための腫瘍分子イメージング技術開発	福井大学
イオンビーム照射による白色腐朽菌の高性能化と、そのセルロース系バイオマス前処理への応用	福井大学

(掲載は提案機関五十音順)

